

議会だより

No.194
令和6年11月
発行 福島県鏡石町議会
編集 広報広聴常任委員会
〒969-0492 福島県若菜郡鏡石町
不時沼345
電話0248(62)2110
印刷(南)永山印刷



オランダ秋祭りでよさこい演舞



秋の一大イベント 鏡石「牧場の朝」オランダ・秋祭りが、10月5日(土)に駅前周辺で開催されました。特設ステージで披露された「よさこい演舞」では、子供達が練習の成果を元気いっぱいに披露しました。

目次

第5回定例会・第2回臨時会	2~4ページ
審議結果報告	5ページ
一般質問	6~11ページ
町民の声・議会トピックス	12ページ

町民の声

何でも言って!!
みんなの
願い・想い

旭町在住の矢内さん

自動車の免許返納後の医療機関・買い物等で、行きたくない。高齢化が進む中、移動の不安を解消したい。希望いたします。

町民の皆さんの声を議会だよりで紹介いたします。多くの声をお待ちしています。

「町民の声」提出先 鏡石町議会事務局

〒969-0492 鏡石町不時沼345 電話62-2110
☆町ホームページからも投稿できます。 URL / www.town.kagamiishi.fukushima.jp/



スマートフォンはコチラ

議会トピックス

町村議会議員研修会



会長として挨拶する角田真美議長

福島県町村議会議長会(角田真美会長)が主催する町村議会議員研修会が、10月25日、ビックパレットふくしまで開催されました。鏡石町議会でも12名の議員全員が出席して、「岐路に立つ議会改革」、「今後の政局・政治展望」について聴講し、研鑽を深めました。

傍聴者記念表彰



議会傍聴4100人目の鶴沼文子さん

9月定例会の会期中に、議会傍聴者が通算で4100人に達し、議場において記念表彰が行われました。対象者は、9月6日の一般質問を傍聴した鶴沼文子さん(町内在住)です。鶴沼さんには、角田真美議長から傍聴を証明する証明書と記念品が贈られました。

編集後記

9月の定例会では、年度の決算が審査され、認定されました。各議員からは、町が行った事業に対する質疑や意見が活発に行われましたが、町執行部においては、「町民の声」として真摯に対応し、町民福祉のさらなる向上に尽力していただきたいと思います。さて、すっかり秋の気配となりましたが、スポーツ・文化・食欲の秋と、町においても、様々なイベントが行われています。是非とも積極的にご参加ください。

発行責任者 議長 角田 真美

広報広聴常任委員会
委員長 稲田 和朝
副委員長 熊倉 正磨
委員 畑 幸一
委員 根本 幸一
委員 根本 幸一
委員 山本 幸一
委員 吉田 孝司

令和5年度各会計決算を認定

歳入決算総額は105億7393万円
1億9637万円の黒字決算



第5回鏡石町議会定例会は、9月4日から18日までの15日間の会期で開催されました。今定例会では、令和5年度各会計決算や補正予算など24件の議案が審議され、いずれも可決・認定されました。また、一般質問では、7名の議員が登壇しました。

【第5回定例会の議事日程】

開催日	会議内容
9月4日(水)	本会議(人事案件、条例改正等)
9月5日(木)	本会議(一般質問4名)
9月6日(金)	本会議(一般質問3名)
9月9日(月)	各常任委員会
9月10日(火)~12日(木)	決算審査特別委員会
9月18日(水)	本会議(決算認定、補正予算等)

令和5年度の各会計歳入歳出決算認定については、決算審査特別委員会(根本廣嗣委員長)が設置され、9月10日から12日までの3日間、審議を行いました。特別委員会では、全会計決算を認定すべきと決定し、本会議でも全会一致で決算が認定されました。なお、公営企業会計(上水道及び下水道事業会計)を除く歳入決算総額は、105億7393万円で、実質収支は1億9637万円の黒字決算となりました。(表1参照)

その他の議案では、教育長の任命などの人事案件、各条例の一部改正、令和6年度各会計の補正予算などが審議されました。(審議結果は4~5ページ)

令和5年度決算を認定

【表1】令和5年度 歳入歳出決算総括表 (公営企業会計を除く) (単位:千円)

会計区分	歳入(A)	歳出(B)	形式収支(A)-(B)	実質収支
一般会計	7,595,648	7,402,000	193,648	170,539
国民健康保険特別会計	1,294,039	1,285,213	8,826	8,826
後期高齢者特別会計	134,315	133,889	426	426
介護保険特別会計	1,252,784	1,238,702	14,082	14,082
土地取得事業特別会計	102	0	102	102
工業団地事業特別会計	45,745	44,356	1,389	1,389
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	248,006	246,037	1,969	969
育英資金貸付費特別会計	3,285	3,252	33	33
合計	10,573,924	10,353,449	220,475	196,366

※実質収支とは、形式収支(歳入歳出差引額)から翌年度へ繰越すべき財源を控除したものです。

令和6年度一般会計補正予算の主な内容

令和6年度一般会計補正予算の主な内容

(歳入)	
・前年度繰越金	1億4054万円
(歳出)	
・財政調整基金積立金	7100万円
・町道舗装修繕工事	4600万円
・新型コロナワクチン定期予防接種委託料	2878万円
・中学校プール解体工事	1760万円

令和6年度の一般会計補正予算は、3億1529万円が増額となり、補正後の一般会計予算総額は、69億5596万円となりました。また、国民健康保険特別会計などの各特別会計は、主に前年度繰越金を整理する補正予算となりました。

令和6年度の各会計補正予算が可決

渡部教育長を再任

任期満了に伴う教育長の再任案が提出され、全会一致で同意されました。任期は、令和6年10月1日から3年間となります。

【再任】

渡部修一氏(須賀川市)

教育委員会委員2名を再任

任期満了に伴う教育委員会委員2名の再任案が提出され、2名とも全会一致で同意されました。任期は、令和6年10月1日から4年間となります。

【再任】

関根さなえ氏(本町)
鈴木健生氏(中町)

監査委員を選任

任期満了に伴う監査委員1名の選任案が提出され、全会一致で同意されました。

任期は、令和6年10月1日から4年間となります。

【新任】

滝田賢治氏(蒲之沢町)

人権擁護委員を推薦

任期満了に伴う人権擁護委員1名の推薦案が提出され、全会一致で推薦することに決しました。

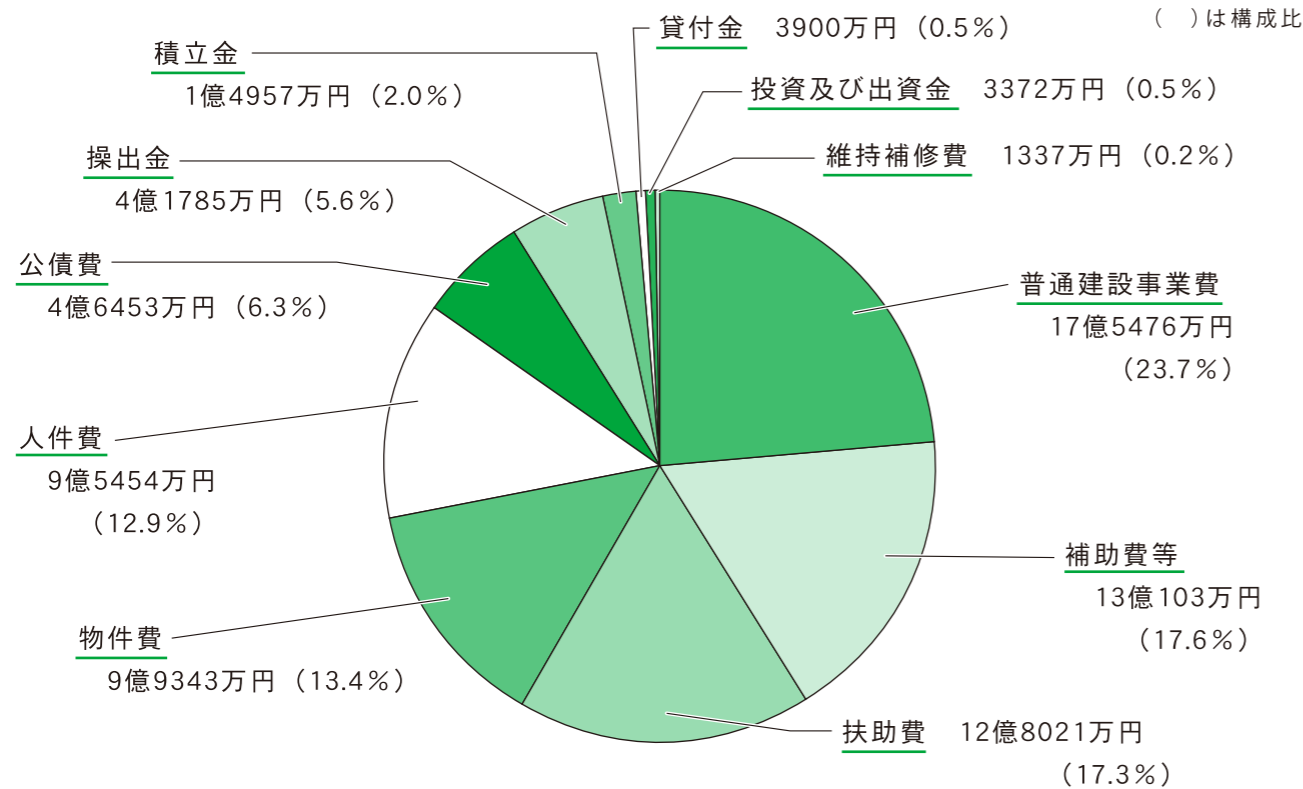
【推薦者】

梶田和子氏(岡ノ内)

請願書3件を審議

今定例会では、「健康福祉センターにおける保健・医療・福祉・介護に関する行政事務手続きの一元化を求める請願書」など3件の請願書が提出され、産業厚生常任委員会(小林政次委員長)に付託されました。委員会では、2件が不採択、1件が継続審査となり、本会議の採決でも同様の結果となりました。(審議結果は5ページ)

令和5年度一般会計決算(歳出) 74億200万円の性質別内訳



町債残高の推移

(単位:千円)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	増	減	増	減	増	減
普通会計	6,266,283	552,745	6,362,445	96,162	6,892,894	530,449

※普通会計(一般会計、駅東第1土地区画整理事業特別会計)

第5回定例会 審議の結果

議案等番号	議案件名及び概要	審議結果
議案第88号	福島県と鏡石町との阿武隈川上流流域下水道(県中処理区)内の流域関連公共下水道幹線管渠の設置に関する協議について (流域関連公共下水道の幹線管渠の一部設置を福島県が行うことについて協議に応じるもの)	可決
議案第89号	福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について (マイナンバーカードと健康保険証の一体化により被保険者証を廃止することに伴う変更)	可決
議案第90号	鏡石町保健センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について (公共施設等総合管理計画に基づき、鏡石町保健センターを解体することに伴う改正)	可決
議案第91号	鏡石町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について (マイナンバー法の改正による被保険者証の廃止に伴う改正)	可決
議案第92号	鏡石町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について (介護保険法施行規則の改正による関係個所の改正)	可決
議案第93号	鏡石町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について (地域包括支援センターの柔軟な職員配置を可能とする改正)	可決
議案第94号	令和6年度鏡石町一般会計補正予算(第3号) (令和5年度決算に伴う繰越金、財政調整基金積立金など 315,284千円の増額補正)	可決
議案第95号	令和6年度鏡石町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (令和5年度決算に伴う繰越金、国保基金積立金など 40,323千円の増額補正)	可決
議案第96号	令和6年度鏡石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (令和5年度決算に伴う繰越金など 706千円の増額補正)	可決
議案第97号	令和6年度鏡石町介護保険特別会計補正予算(第1号) (令和5年度決算に伴う繰越金、国・県等負担金返還金など 21,431千円の増額補正)	可決
議案第98号	令和6年度鏡石町工業団地事業特別会計補正予算(第1号) (令和5年度決算に伴う繰越金など 830千円の増額補正)	可決
議案第99号	令和6年度鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) (令和5年度決算に伴う繰越金、保留地処分金など 11,303千円の増額補正)	可決
議案第100号	令和6年度鏡石町上水道事業会計補正予算(第1号) (消費税額確定など 5,900千円の増額補正)	可決
議案第101号	令和6年度鏡石町下水道事業会計補正予算(第1号) (管路施設補修工事など 1,700千円の増額補正)	可決
請願第1号	鏡石町健康福祉センター「ほがらかん」における保健・医療・福祉・介護に関する行政事務手続きの一元化を求める陳情書 (健康福祉センターでの行政事務手続きの一元化を求めるもの) ※紹介議員は吉田孝司議員	不採択
請願第2号	鏡石町健康福祉センター「ほがらかん」における子ども・子育てに関する行政事務手続きの一元化を求める陳情書 (健康福祉センターでの行政事務手続きの一元化を求めるもの) ※紹介議員は吉田孝司議員	不採択
請願第3号	鏡石町における小児医療の充実を求める陳情書 (新たな小児科専門医療機関の誘致を求めるもの) ※紹介議員は吉田孝司議員	継続審査

第5回定例会 審議の結果(賛否が分かれたもの)

「○」賛成 「×」反対 「-」採決に加わらない。その他の議案は全会一致で可決した。

議案等番号	畑幸一	中島伸子	熊倉正麿	東悟	根本廣嗣	町島洋一	稲田和朝	込山靖子	吉田孝司	小林政次	円谷寛	角田真美	審議結果
議案第94号	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	可決
請願第1号	×	×	欠席	×	×	×	×	×	○	×	○	-	不採択
請願第2号	×	×	欠席	×	×	×	×	×	○	×	○	-	不採択

監査委員の決算審査・財政健全化審査意見(要旨)

◎審査に付された一般会計、特別会計、上水道及び下水道事業会計の歳入歳出決算書・歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査及び財産に関する調査は法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りないものと認められた。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており、誤りのないものと認められた。

◎財政健全化審査で、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。是正改善を要する指摘事項はない。

◎令和5年度の日本経済は、コロナ禍を乗り越え前向きな動きがみられ、30年振りの高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など活発な情勢となった。一方、ウクライナやイスラエルの戦争の長期化や米欧におけるコロナ禍からの回復により物価が高騰、個人消費への影響は大きく、町民の生活は勿論のこと公共事業への影響も大きい。町でも、低所得者への経済支援や事業者への支援などに注力してきた。現在、第6次総合計画を推進中であるが、難しい局面を迎えることも想定しつつ進めていってほしい。特に、上水道事業の財政状況は厳しく、今後の財政基盤をどうしていくか慎重な検討を要する。最優先課題として取組んでほしい。

主要財政分析指標

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
財政力指数	0.563	0.583	0.597
経常収支比率	79.3%	84.3%	81.9%

財政健全化判断比率

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	早期健全化基準
実質赤字比率	-	-	-	15.0%
連結実質赤字比率	-	-	-	20.0%
実質公債費比率	9.6%	9.0%	8.5%	25.0%
将来負担比率	100.6%	68.9%	40.9%	350.0%

第2回議会臨時会 ～プレミアム付商品券発行事業費3,500万円を増額補正～

第2回鏡石町議会臨時会が、令和6年7月22日に開催されました。臨時会では、プレミアム付商品券発行事業として3,500万円を増額する令和6年度一般会計補正予算が全会一致で可決されました。

◎提出議案1件

議案等番号	議案件名及び概要	審議結果
議案第83号	令和6年度鏡石町一般会計補正予算(第2号)	可決

第5回定例会 審議の結果

◎提出議案24件

議案等番号	議案件名及び概要	審議結果
認定第2号	令和5年度鏡石町各会計歳入歳出決算認定について (令和5年度一般会計など全10会計決算の認定)	認定
報告第12号	令和5年度鏡石町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について (地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告)	報告のみ
議案第84号	教育長の任命につき同意を求めることについて (任期満了に伴い、渡部修一氏の再任を求めるもの)	同意
議案第85号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (任期満了に伴い、関根さなえ氏の再任を求めるもの)	同意
議案第86号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (任期満了に伴い、鈴木健生氏の再任を求めるもの)	同意
議案第87号	監査委員の選任につき同意を求めることについて (前任者の任期満了に伴い、新たに滝田賢治氏の選任を求めるもの)	同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (前任者の任期満了に伴い、新たに榊田和子氏の推薦を求めるもの)	推薦

質問事項

- 町長の町政姿勢について
- ほ場整備事業の推進について
- ごみ問題について



根本廣嗣議員

町長の町政姿勢について

質問 道路行政で、高久田一貫線から須賀川118号線の乗り入れについて、事業の進捗状況は。

町長 118号線への接続ルートは、当初ルートの計画を残しつつ、新たに東部環状線に接続するルートについて、須賀川市と連携して進めている。

質問 東部環状線のルートは、詳細設計の作成中であり、須賀川瓦斯前交差点に接続する当初ルートは、砂利道の簡易舗装工事を行った。須賀川市では、継続的に地権者と交渉を進めているが合意は得られていないため、鋭意、接続について要望していきたい。

質問 蒲ノ沢交差点の渋滞解消は。

町長 当該交差点は、国道4号の4車線化により、渋滞が緩和され、信号の待ち時間や回数も減ってきている。町道側信号機の青信号の時間調整、右折レーン設置による交差点改良が有効であると考えられるが、道路構造上の問題で実現できていない。警察などの関係機関と協議を進めていきたい。

質問 人口増加につながる対策は。

町長 人口増加対策は、転出の抑制と転入の促進による社会増を目指す移住対策が重要である。

質問 具体的には、来て「かがみいし」移住定住促進事業などの各種助成金制度や地域おこし協力隊の活動推進、空き家を活用した移住対策を推進していく。

ほ場整備事業の推進について

質問 高久田県営ほ場整備事業で、農業機械を大型化できるようにする支援策は。

産業課長 現在、認定農業者が農地を拡大するための補助事業として、「水田農業経営規模拡大支援事業」があり、トラクターやコンバインなどの導入費用を補助している。

質問 ほ場整備事業は、令和10年頃には完成する予定だが、当初とは計画に違いがあるのではないかと。

産業課長 現時点で、当初計画からの遅れは若干見られるが、県からは事業期間延長など計画変更の提示はない。令和9年度での事業完了を目指していると認識している。

ごみ問題について

質問 リサイクル率とごみ排出量は、県全体で全国平均より低いと、町の対策は。

健康環境課長 今後の対策としては、プラスチック類の更なるリサイクルを図るため、分別範囲や回収方法について、須賀川地方衛生センターなどの関係機関と協議を進めている。

質問 鉄棒のごみステーションは、枠を設置している場所やカラス除けネットの場所など様々である。

健康環境課長 ごみステーションは、枠を設置している場所やカラス除けネットの場所など様々である。場所の確保、設置、維持管理は、各行政区や地域等で行っているため、地域の実情にあわせた活用と管理をお願いしている。

令和6年9月 第5回定例会

一般質問 7名の議員が町政を問う

◎一般質問は、町政全般に対する議員主導の政策論議です。執行機関に疑問点をただし、その政治姿勢を明らかにするだけでなく、現行の政策の変更、是正、新規政策の採用などの効果もあります。（紙面の都合上、質問の一部を割愛しています。）

質問事項 ○商工会と鏡石町商品券について

質問 鏡石町プレミアム商品券の取扱店舗には、商工会に入っていない町内の事業所も手を挙げられるということと相違ないか。

産業課長 現在実施しているプレミアム商品券発行事業では、町商工会に加入していない事業者でも、登録できる制度設計となっている。

質問事項 ○マイナンバーカードについて



中島伸子議員

質問 暗証番号のないマイナンバーカードと資格確認書では、どちらが便利なのか。

税務町民課長 どちらも医療機関で被保険者の資格を確認するものである。マイナンバーカードは、医師からの総合的な診断が受けられるなど便利な面はあるが、どちらを利用するかは、被保険者の判断となる。

質問事項 ○ほがらかん入口の自動ドアについて

質問 入口が自動で開いて、子どもや認知症のお年寄りなどが1人で通れてしまうことは、危なくないのか。

福祉こども課長 ほがらかんでは、自動ドア事故を防止するためJIS推奨のセンサーを設置し、防護柵を設置している。開館以降、危険な状況はない。

質問事項 ○町内定住者の促進について

質問 わが町の交通網を含めた立地条件の利便性を活かし、新規移住者の促進を図る方を考えては。

町長 鏡石町は、交通利便性が高く、駅から1.5km半径に7割の方が居住しているコンパクトな町である。この利点を強調し、来て「かがみいし」移住・定住促進事業や地域おこし協力隊の活動による定住促進を進めていきたい。



町島洋一議員

質問事項 ○町の職員について

質問 年功序列での昇進を実施しているように見えるが、今後も堅持する方針なのか。

総務課長 平成28年度から、人事評価制度を導入している。昇格等の人事管理の基礎としており、年功序列だけでなく、能力、実績で昇格する制度となっている。

質問 休憩時間以外と思われる時間での禁煙について、指針等はあるのか。

総務課長 職員の勤務時間における喫煙についての指針等は定めてはいるが、社会通念上認められる範囲を超える喫煙はしないよう指導している。町民の信頼を損なわないよう指導を徹底していきたい。



小林政次議員

質問事項

- 道路改良事業について
- JR東日本に対する踏切等改良事業の要望活動について
- 和田池の浚渫工事について
- 特定空家等対策について
- 広域バス路線「地域間幹線系統」の再編について
- 堀米地区のインフラ整備について
- 阿武隈川上流遊水地群の整備事業について
- 新年度予算について

一般質問

一般質問

質問事項

- 成田遊水地事業の進捗状況について
- ふるさと納税の進め方について
- 町営墓地公園の建設について



円谷 寛議員

成田遊水地事業の進捗状況について

質問

移転用地は、各地区に班が設置できる位の戸数が作れるものとなるのか。

都市建設課長

現在、国による集団移転先地の整備に向け、準備や詳細設計を進めている状況である。

確定ではないが、移転先を希望する世帯は成田原町が14世帯であり、移転世帯のみでの班形成も可能な世帯数である。

また、新町を希望する世帯は5世帯で、移転世帯のみでの班形成は難しいが、隣接する班との班形成は可能であると思われる。

質問

大きく固定資産税の減収となる代償として、第二遊水地をつくり、駅東開発の調整地を兼ねることを要求すべきではないか。

町長

今回の国による遊水地整備では、広大で優良な農地と宅地、そして町の貴重な財源も失われる。

そのため、税財源の減収や産業の収入減に対する財源措置について、国に要望をしてきたところである。

なお、第二遊水地については、今回の阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの関連事業としては大変難しいと国から言われているが、駅東の市街化区域外に調整地を設置することも含めて交渉していきたい。

ふるさと納税の進め方について

質問

返礼品でもっと改善すべき点はないか。

企画財政課長

今年度、専門事業者へ業務を委託し、新規返礼品の開発を進めており、返礼品のラインナップを充実させる。

質問

東京かがみいし会、県人会などに協力を求めているのか。

企画財政課長

東京かがみいし会や福島県人会のような町内、県内出身者に対するアピールは、寄付額の増加に効果的と考えられる。

昨年度も、都内でのイベントで来場した東京かがみいし会の方々から、寄付をいただいたケースもあった。今後も地元出身者に対する情報提供や周知活動に努めていきたい。

町営墓地公園の建設について

質問

駅東開発で住宅建設が進むと墓地需要も高まる。今回進められている池ノ原の墓地とは別に、新たな墓地の建設が計画されるべきではないか。

町長

現在、喫緊の墓地不足に対応するため、鏡石町墓地整備計画に基づき、短期的な墓地整備を進めている。

今後の墓地のあり方については、中長期的な視点で墓地整備の調査検討を進めていきたい。

質問

従来の墓石を並べただけの墓地ではなく、樹木などのある公園として、町民の憩いの場を兼ねたものとするべきではないか。

健康環境課長

墓地のあり方は、宗教法人などの特性を生かしながら、墓所等の需要に対応することが必要である。

将来を見据えた中長期的な墓地整備を計画する際には、景観など様々な視点を考慮し、憩いの場を備えた墓地公園といった手法も含めて調査検討を進めていきたい。

道路改良事業について

質問

牧場線道路改良事業で、社会資本整備総合交付金の内示額が増額されない場合はどのようにするのか。

都市建設課長

今年度当初の内示額は、大変厳しく、県に追加要望をして追加配分があった。予算額2881万円に対して、1612万8千円の配分であるが、要望額に対して内示割れが続いているので、県への追加要望や起債の借入れを視野に入れた。

質問

広域農道（北町・堀米線）の道路改良事業で、社会資本整備総合交付金の内示額が増額されない場合はどのようにするのか。

都市建設課長

北町・堀米線についても、当初要望2000万円に対して、内示額ゼロという非

常に厳しい結果となった。

今年度予定していた工事が施工できない状況であるが、県への追加要望や起債の借入れを視野に入りたい。

質問

久来石行方蓮池西線の残区間の道路改良事業についての考え方は。

都市建設課長

残区間は、笠石原町から笠石・鏡田線までの区間である。現在、大きな整備計画はないが、狭くて老朽化している箇所もあるので、現状をみながら修繕を進めていきたい。

JR東日本に対する踏切等改良事業の要望活動について

質問

四街道踏切の凹凸を解消するため、踏切の改良をJR東日本に対し要望したと思うが、現在までの経過と施工時期は。

都市建設課長

現時点では、踏切内の修繕工事の予定はないが、踏切前後の町道工事を予定する場合、事前協議の上、同時期の施工も可能とのことである。

踏切のある町道堀込線は、今年度から舗装修繕工事を継続的に実施するため、踏切の修繕について、鉄道管理者と引き続き協議していく。

質問

地蔵踏切の凹凸を解消するため、踏切進入道路と踏切の改良をJR東日本に対し強く要望する考えはあるか。

都市建設課長

地蔵踏切前後の町道は、くぼみ部分について簡易補修を行い、町道の修繕工事と踏切内の修繕については、今後、鉄道管理者と協議していく。

和田池の浚渫工事について

質問

全面的に、多年草の葎やガマを除去して和田池の水深と表面積を確保し、本来の水源機能を取り戻すように浚渫をする考えは。

都市建設課長

ため池の堆積土砂の浚渫は、地元の水利利用者や環境保全会の管理状況、意向を踏まえて検討したい。なお、池全体の浚渫は、財源の確保も課題となる。

特定空家等対策について

質問

特定空家等に認定された場所はどこか。

都市建設課長

鏡石町空家等対策協議会で、特定空家等に該当すると認定されたのは、久来石地内と笠石地内の2箇所である。



吉田孝司議員

質問事項

- 町の上水道事業
- 成田地区遊水地整備事業
- 鏡石中学校における教育環境
- 町内における小児医療の充実
- 町道高久田・一貫線
- 小学生県外交流事業

町の上水道事業

質問

水道料金について、テレビ・新聞等で報道された誤った内容に対して、町の見解と今後の対策は。

町長

今回の放送は、一部データ企業の資料に基づき20年後を予想したものであり、仮説であるためコメントはできない。

質問

水道水に含まれるPFAS（有機フッ素化合物）の現状と対策は。

上下水道課長

PFAS（有機フッ素化合物）のうち、PFOSとPFOAの2種類が、水道水の水質管理目標設定項目として定められている。7月に3箇所の浄水場で検査した結果、国の暫定目標値以下であった。今後も定期的に水質検査を実施していく。

成田地区遊水地整備事業

質問

事業の進捗状況と現時点における課題は。

町長

集団移転先となる住宅代替地整備は、国による用地調査や詳細設計が進み、来年度から代替地造成に入れる状況である。遊水地内の工事は、用地協議が完了して土地がまとまった箇所から工事着手する予定である。

鏡石中学校における教育環境

質問

中学校グラウンドの屋根付きベンチ設置の発案、設計、財源確保、設置工事完了に至るまでの経緯は。

教育課長

屋根付きベンチは、夏の猛暑など野外教育活動に支障があるため、休憩や雨宿りなど一時的に待機できる場所として、学校要望により設置した。設計業務の予算を令和5年度当初予算で計上し、設計完了後、令和5年12月に設置工事の補正予算を計上した。

なお、設置工事は、令和6年1月から始まり、3月末に工事が完了している。

町内における小児医療の充実

質問

町内に、新たな小児科専門医療機関の誘致を図るべきと思うが。

健康環境課長

小児科医院の確保には、医師数の不足や偏在の問題など多くの課題がある。須賀川医師会等から意見をいただき、先進自治体の取組みを調査研究していく。

町道高久田・一貫線

質問

すでに重要な通学路でもあることから、必要十分な数の街路灯や防犯灯を設置すべきと思うが。

総務課長

町道高久田・一貫線には、防犯灯が24基設置されている。通学路など防犯・交通安全上で必要な場所には、できる限り設置していきたい。

小学生県外交流事業

質問

従来のスポーツ少年団同士との交流事業について、どのように考えているか。

企画財政課長

以前は、予算をかけないスポーツ少年団同士の交流であった。今回の交流事業は、町が主体なので、スポーツ少年団のカテゴリーではなく、小学4・5年生の希望者を抽選で派遣した。



込山靖子議員

質問事項

- 農業の振興について
- 町のベンチ・腰掛等設置について
- レプリコンワクチンについて

農業の振興について

質問

食料・農業・農村基本法の改正をどう考えているか。

町長

今回の改正を受けて、国では、中長期的な農業施策の方向性を示す「食料・農業・農村基本計画」の改定に向けて着手した。町としては、具体策が明示される基本計画の策定動向を注視していく。

質問

町の取組みで農業収益が向上した顕著な成果実績はあるか。また、今後の具体的方策は。

産業課長

主要産品のきゅうりは、「岩瀬きゅうり」の銘柄を確立し、令和4年度生産額は3億7千万円、県内8番目の算出額となっている。きゅうりによる就農希望者が多い状況から、就農支援センター等と情報共有し

ながら、就農者を確保して産地継承に努めていく。

質問

学校給食の地元農産物の利用促進と子育て支援米など、子供達に対しての食育と農業のつながりを考えているか。

教育長

学校給食では、町内産のコメ、きゅうりやキクラゲなど地元農産物の利用促進に努めている。また、小学校の社会科授業では、町の農産物を学んだり、ミニトマトを育てたりしている。

質問

「ほがらかん」での直売はできないのか。

産業課長

まちの駅「かかんてらす」や鳥見山公園で2か月毎に実施している農産物の直売イベントを、「ほがらかん」で開催することは可能である。

なお、「ほがらかん」での恒常的な直売の実施・運営は、運営主体、商品手配、運営方法等の課題があるので、今後検討していきたい。

町のベンチ・腰掛等について

質問

町全域のベンチ・腰掛等の総数は把握しているのか。

企画財政課長

屋外ベンチ等の設置数は、公園施設に91台、役場、公共施設に5台、町道の歩道等に18台である。

質問

旧国道やグリーンロードのベンチ・腰掛等の数が多い理由と必要性は。

都市建設課長

町道のベンチは、散歩者の休憩の場や町民の憩いの場として利用され、大変有効な施設である。

なお、ベンチの数や間隔は、利用者の要望を反映して設置している。

老朽化して腐敗したベンチは、今後どうするのか。

質問

老朽化し、修繕ができないものは順次、置き換えや廃止することを検討していきたい。

レプリコンワクチンについて

質問

世界で唯一、日本だけが承認したレプリコンワクチンの接種が、日本で開始された場合、安全性についてどう考えているのか。

健康環境課長

新型コロナウイルスについては、厚生労働省が承認申請に基づき、有効性や安全性を承認するものである。また、承認後も継続して専門家による評価を受けるなど安全性の確保を図っている。

なお、レプリコンワクチンは、現在、薬事承認申請中である。